

HSK

なんれん **と** **か** **ち**

NO. 31

昭和48年1月13日

第三種郵便物認可

HSK通巻第 336 号

2000年3月10日発行

毎月10日発行 (一部100円)

(会費・協力会費に含まれています)

編集 (財)北海道難病連十勝支部

発行 北海道身体障害者団体

定期刊行物協会 (HSK)

道東地区役員研修会

お疲れさま澤本さん

各部会からの報告

福祉機器事業帯広営業所について

ふれあいデジタル工房(難病患者共同作業所)について



十勝中央大橋

(財)北海道難病連十勝支部

目 次

1999年度の活動を振り返って	1
支部役員研修会の報告	
難病のケアマネジメントについて	2
患者活動と社会的役割及び地域活動の課題について	3
朝日訴訟VTR 学習について	4
「がんばれ難病患者日本一周激励マラソン完走を祝う集い」 に参加して	6
日本リュウマチ北海道十勝分会	
活動報告	8
医療交流会と忘年会に参加して	9
全国パーキンソン病友の会北海道支部帯広ブロック	
第8回定期総会と医療講演会 御案内	10
全国心臓病の子供を守る会北海道支部帯広ブロックから	
肝癌検診について	11
事務局からのお知らせ	
ふれあい帯広の閉鎖について	
地域共同作業所の開設について	12
ご寄贈有り難うございました	
定期総会の案内	13

1999年度の活動を振り返って

支部長 山崎 富士夫

5月の難病連定期総会において、支部長の任を正式にお引受けしてから、2年任期の半分が終わろうとしています。支部の活動に係わってから、経験の浅い私が、この役を引き受けたのは大変なことであったと気がついたのは、いろいろな行事や活動が動き始めてからです。毎日の様に「なんれんとかち」のことに係わっていて、何らかの事務的なことや連絡等に係わっていないと、止まってしまいます。今年から、支部長、事務局長、事務局次長、会計の4名で、事務局会議を定期的に開いて、いろいろなことを相談して進めるようにしました。おかげで、いろいろな物事の進め方について、行き違いや手違いが少なくなり、分かりやすくなったと思います。それに、毎月の役員会で基本的なことを相談しています。何かの都合で欠席した役員の人には、役員会の結果を文書にして報告しています。

これからも、「なんれんとかち」の活動が「なんとかなる」様に、本来の患者と家族の会としての活動が続けられるように、役員一同頑張りますので、ご支援とご協力をお願い申し上げます。

今年度は、例年行って来た活動の他に、新しく、作業所つくりのための活動をしました当初は、平成13年度には何とかなるかと思いましたが、途中から話が急展開して平成12年度当初から、開設できる見通しになりました。（正式な通知は、まだ、来ていませんが）

帯広市から補助を受けながら運営する「障害者地域共同作業所」です。作業所で行う作業内容にちなんで、「デジタル工房帯広」と名付けます。パソコン教室とパソコンによる作業を行う予定です。私たち、難病患者の仲間でも、何か出来ることから始めようとする考え方です。今まで、パソコンなどに触れたことが無い人でも、練習して、何かが出来るようになることを通して、社会への関わり方が広まったり、仕事に活用できたり、充実感をもった生活ができたり、ということになればという発想です。

正式に認可になり、動き出す時には、もっと具体的な詳しい情報をお伝えできると思います。一年間のご協力に感謝して、また、次年度へと歩み始めたいとおもいます。有り難うございました。

於：釧路 道東地区役員研修会

1 「難病のケアマネジメントについて」

釧路保健所保健指導課地域保健推進係長 藤田 麗子 氏

〔介護保険制度とは〕

- ・介護保険制度の発足は、「介護の社会化」と考えればわかりやすい。
- ・ケアマネジメントが制度の中に取り入れられた（現在は、保健婦とケースワーカーが取り組んでいる）生活全体をアセスメントして、ケアプランをたてる仕事であり、長期目標と短期の目標をたてる。
- ・行政の立場の保健所の保健婦としては「地域」に力を注ぐことになるが、個別支援を減らさないようにしたい。
- ・現状では、「個」とか「家庭」（特に嫁）に介護の負担が偏っている。この問題を解決するために「介護の社会化」を図り、「社会全体の責任体制の中で介護していく」ことだと思ふ。

〔心配される面〕

- ・民間業者の中には、単に営利に走る場合もあるかも知れない。
- ・最初の5年間は、混乱するであろうと思われる。
- ・保健婦の患者宅訪問を減らさないようにして欲しい。（大阪の難病連の人々の声）
- ・老人保健法によると、介護保険の対象者は保健婦の担当外になるが、今までどおりにしてほしい。

〔介護保険が始まると何が変わるか〕

- ・ケアマネージャーが、介護の計画をたてる。
- ・本人及び家族はケアマネージャーを選択できるが、調査員は選択できない。
- ・ケアマネージャーが、介護を担当する人を招集して、ケアカンファレンスを持ち、方針を決めていくことになる。

※「ケアマネージャー」とは、ケア・プランを立てるチームのリーダー。医師、保健婦、薬剤師、看護婦、調理師などが一定の講習を受けて後、資格を得る。

以上、要点のみを紹介しました。 — 担当 山崎 —

2 「患者活動と社会的役割及び地域活動の課題について」

北海道難病連本部 事務局長 伊藤 たてお 氏

〔北海道難病連と各部会や支部の活動〕

(1) どこに活動の目標を置くか。

・情報提供 ・患者運動 ・難病情報センター としての役割を果たしてきているがインターネットの時代になって、「情報」では、どこに居ても満たされるかも知れないが、「地域で生活している」という事実がある。

・各部会や支部は、その地域の抱える問題について取組み、逆に情報を各支部や本部に上げて行くのも、重要な活動である。(地域によって、課題が違う)

(2) これから、予想される課題。

- | | | |
|--|---|--|
| ・健康保健の改革
・介護保険の改革
・年金の改革
・定年の延長 | } | これらの改革は、単独に行われる様に見えるが、相互に関連しながら、個人の負担が重くなる方向で変わって行く
と予想される。(高齢化、少子化社会の課題)

民間の福祉関係企業や、民間保険への依存度が高くなる
ことが予想される。 |
|--|---|--|

〔国の考え方〕 —介護保険の開始をめぐる—

- (1) 介護の必要な人を病院から出してどうするか。? — 介護保険をつくる —
- (2) 病院を分ける。A 長期療養型. B 短期入院型. C 通院型(診療所など)
- (3) 年金の変え方 ① 年金は下げる ② 医療保険は上げる
- (4) 介護保険と難病対策 特定疾患・特殊疾病・特定疾病 などの指定が、少なくな
って行く動き。特定疾病は、40才から介護を受けられる。
- (5) 民間の任意保険への依存度が高くなる。

〔患者としては〕

とんなケア・マネージャーと出会うかが、大きな問題。ケア・マネージャーの判断と方針で、医療や介護の受け方が変わってくる。

〔注〕以上、伊藤事務局長の講話の中から、私なりに、重要と思われた点を要約して報告
しました。紙面の都合で詳細を報告出来ないことをお詫びします。担当：山崎

3 朝日訴訟VTR 学習について

今回の役員研修の中で、これまでの企画と違ったのが、この「朝日訴訟」のVTRを見て考えることでした。何で、今更、30年以上も昔の話を持ちだして？と考える人も居たと思いますが、この訴訟は、人間として、「基本的に最低限度必要なことを脅かされないで生活したい。」ということでは、「2000年を迎えた今でも共通する課題として、私たちの目の前にあるのだ。」と言う認識で、このVTRを見れば分かってくる問題だと思いました。

VTRは、当時のニュース報道や、関係者による記録映像、インタビューなどを解説をまじえて、ドキュメンタリータッチで描いたものでした。

訴訟をおこした朝日茂さんは、1913年（大正2年）7月、岡山県津山市に生まれ、津山商業高等学校卒業後、東京の日満倉庫（株）に入社、中央大学夜間部卒業後、大連に赴任、結核発病、27才から本格的闘病生活に入る。戦後、患者自治会をつくり、日本患者同盟の創立に参加、中央委員に。

①〔朝日訴訟のポイント〕

・国民の生存権、国の保障義務 憲法第25条 「すべての国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」

・自由及び権利の保持責任、濫用の禁止、利用責任 憲法第12条 「この憲法が国民に保障する自由及び権利は、国民の不断の努力によって、これを保持しなければならない。又、国民はこれを濫用してはならないのであって、常に公共の福祉のためにこれを利用する責任を負う」

・個人の尊重 憲法第13条 「すべての国民は、個人として尊重される。生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利については、公共の福祉に反しない限り、立法その他の国政の上で最大の尊重を必要とする。」

・法の下での平等 憲法第14条 「すべての国民は、法の下に平等であって、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的または社会的関係において、差別されない。

現行の生活保護法による、生活費の支給基準は、これら、憲法に述べられている条文の精神を満たしていない。今の（訴訟を起こした当時）生活保護法による保護費では、「健康で、文化的な最低限度の生活」ができない。憲法違反である。というのが、朝日茂さんの申し立てであった。

② 〔第1審判決（東京地裁）1960年10月19日〕

あの、有名な言葉、「憲法は絵に書いた餅ではない」

生活保護法は 憲法25条の規定する理念にもとづいて、国に国民の最低生活を具体的に保障する法律上の義務を負わせたものであり、たんに教示的・方針的な規定ではなく具体的な効力規定である。— 以下略 —

東京地裁の、この時の判断は、朝日さんの申し立てを大きく聞き入れた内容でした。その結果として、生活保護基準額が改善され、前年比 23%の引き上げになりました。その中でも、日用品費は47%の引き上げ。

生活保護基準額を算定基準にしている「最低賃金」、「社会保障の各種給付」も大幅に引き上げになりました。— 判決結果が、行政を大きく動かした —

③ 〔第2審判決（東京高裁）1963年11月4日〕

「すこぶる低額だが、違法とはいえない」

健康で文化的な生活水準という概念は抽象的であって、具体的な内容は厚生大臣の積極的な施策にまつほかない。生活保護のための費用は、納税をつうじて国民が負担するものである以上、国民感情を無視することはできない。

政府の決めた日用生活費で入院入所中の生活に必要なものは一応そろっている。そのうえ朝日側の要望を受け入れるほど、生活保護で保障する入所患者の生活が、高度の水準を意味するものとは解さない。

この、高裁の判決は、1審と逆転して、朝日さんの言い分を大きく退けるものになった

④ 朝日さんの死 1964年2月14日 51歳

遺詠 「こみあぐる無念はいわず解放の道一筋を歩まんとぞ思う」

厚生省の本音（裁判所に出した弁明書）「生活保護費を引き上げると、生活保護費を基準として、算出している失対事業就労者の賃金・社会保障関係の給付金、身体障害者、児童、母子等の要保護者に適用される社会福祉制度による各種措置費、各種公的年金等についても影響がある。朝日さんの死後、1967年に最高裁の判決も、「憲法の条文は国は直接個々の国民に対して具体的に権利を賦与したものではない」と、判断し、敗訴した。

今、静かに進んで来ている、老人健保の一部負担増額や、特定疾患の指定変更などは、患者が生存のために、最低限度の医療を受けようとする願いも脅かしかねないと言う点で30年以上前の、この「朝日訴訟」に共通するものがあると考えさせられた研修でした。

担当 成田

「がんばれ難病患者日本一周激励マラソン完走を祝う集い」に参加して

リュウマチ部会 田中 弘子

7月25日。グラフィックデザイナーの沢本和雄さんと支援者の方々は、宗谷岬をスタートした。

夏の盛りの8月1日に開かれた札幌での全道集会後、小雨の降る中を30名の伴走者と共に定山溪へと向かっていった。

その後、約4カ月間にわたり難病患者の支援を呼び掛けながら、およそ6100キロを走り抜き、11月29日に雪の札幌へ到着した。

その夜、札幌プリンスホテルで完走を祝う集いが開かれた。十勝難連事務局長の成田さんとそこで落合ち合うことができた。集会は、全道から集まった100名を越す人々の熱気で盛り上がっていた。

沢本さん達は、全国の難病と闘う患者やその家族を支援し、地域の難病対策を自治体へ問うキャンペーンで、47都道府県の知事に「難病患者への医療費軽減や介護の充実」を要請してきた。各県知事の書いた“寄せ書き旗”3枚が、沢本さんから全道難連事務局長の伊藤さんへ手渡され、大きな拍手につつまれた。

沢本さんが4か月全国を駆け抜けた力はどこから出てきたのだろう。それは各地の難病患者の激励と、沿道の声援だったということだ。

伴走の青年の一人が撮影したスライドが上映され、各県の出迎えの様々なイベントや沿道で応援する患者や家族の会の人達が写し出されていた。

難病患者の家へは出かけて行って激励したり、横山ノック知事との面会や、厚生大臣との面会場面などもあった。

また、「難病患者の会」の無い沖縄へは、北海道からツアーを組んで歓迎会を応援し、沖縄の患者の方々との交流もあったそうだ。

沢本さんとそれを応援する人々は、このマラソンを通して「人は優しい、人は温かい、人は強くたくましい」という事を身をもって知らせてくれた。

沢本さんとの「ポラロイド写真撮影」が一枚500円というアイデアカメラマンが大繁盛で、日に焼けて黒光りしている沢本さんは、誰にもにこにここと撮影に応じて下さり、私達も3~4枚も写してもらった。

知らない人と 親しく語り合うパーティの楽しさ、バイクで立食だったが あつという間の 2時間だった

「帰り 沢本さんとスタッフの方に贈呈した花束のバラを 一輪ずつ お持ち帰り下さい」とのことだった

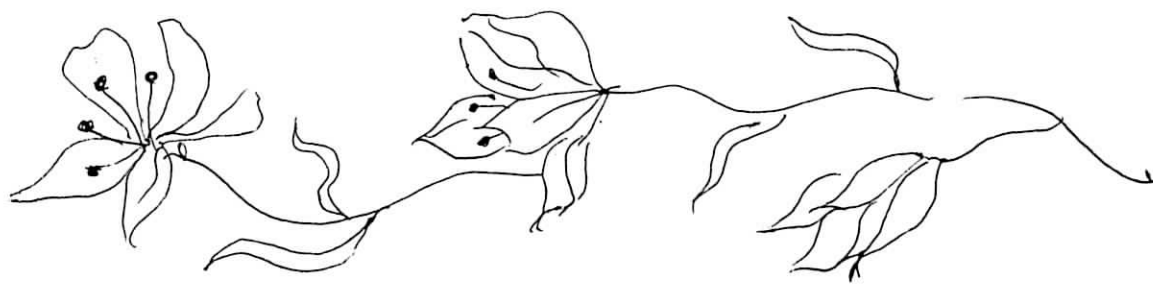
会場を出ると 手に大事そうに バラを持って帰る人達で 華やいてみえた
その花の輪に入り やつとバラとかすみ草を 手に入れて 振り向くと 人波におされて出てくる全道リウマチの会の会長の二反田さんと事務局の人達に出会った。

「このバラを どうぞ」「いいの」と二反田さん。

カラシ色のスーツに 赤いバラがよく 似合っていた。

「十勝から来るとは 聞いていたけれど 会場で 会えなかったね 後ろの方だったの。私達は 前の方だったのよ」と 二反田さんが いった。

私達は 人波におしまれるように 6階からエレベーターに のったのだった。



活動報告

- ① 10月23日～ホテルノースランドで交流会～秩父さんが手づくりのケーキを持参してくれました。頭の体操の短歌作りをしました。
- ② 11月20日～ホテルノースランドで交流会～会員外の二名も参加して交流会。頭の体操の短歌作りをしました。
- ③ 12月11日～北海道ホテルで勤医協リュウマチ専門医の深町先生を囲んで医療交流会と「望年会」をしました。
- ④ 1月16日～ホテルノースランドで交流会～高田さんの誕生会でみんなで「ハッピーバースデー」をうたいました。
- ⑤ 2月1日～北海道ホテルで勤医協札幌中央病院のリュウマチ専門医の中井先生を囲んで医療懇談会をしました。
- ⑥ 2月20日～ホテルノースランドで交流会～リハビリを兼ねた折り紙の雛人形作りと、加藤さんの誕生会をしました。

今後の予定



- 4月16日12時からホテルノースランドで新年度の総会をします。

申込みを 4月10日(月)までに<田中(36-2705)、間野(33-3319)、加藤(33-6999)迄>
お知らせ下さい。

医療交流会と望年会に参加して

間野 美保

平成11年12月11日(土)pm6:00～北海道ホテルに於いて、勤医協病院リュウマチ専門医の深町医師を囲んで、医療交流会と望年会を開催しました。

参加は11名でしたが、普段の診察ではなかなかお聞き出来ない事等、質疑応答していただき充実したひと時でした。

- 1 アミロイド沈着について
- 2 人工関節置換術のタイミングについて
- 3 感染症について

ウイルスと細菌によるもので、原因がないのに熱が出るのが特徴。リュウマチ患者さんは免疫力が落ちている。

プレドニン2.5ミリ位投与で抵抗力がなくなる。



インフルエンザについていえば

- 1 高齢者や抵抗力の落ちている人は、ワクチンが有効
- 2 部屋の湿度に気を付ける
- 3 うがい手洗いをまめにする

無理せず自分の体調に合わせて生活する事

一年間大過なく暮らせた人。痛みの増幅に悩まされた人等、リュウマチの活動は人それぞれ。痛いけど海外旅行に3回も出かけストレス解消している人、前向きで羨ましいです。交流のあと御馳走食べてカラオケで盛り上がり、一年の締めくくりにあつた一日でした。

次回はあなたも参加しませんか？

全国パーキンソン病友の会
北海道支部帯広ブロック

[第8回定期総会と医療講演会]

御案内

- 日時 2000年6月3日(土)
- 13時15分～14時15分…総会
 - 14時15分～14時30分…休憩
 - 14時15分～ …受付
 - 14時30分～16時00分…医療講演会
 - ・テーマ…パーキンソン病の最新治療について
(薬物治療、外科治療)
 - ・講師…北海道大学大学院医学研究科、神経内科助手
菊地 誠志 先生
 - ・相談医…帯広厚生病院神経内科主任医長
保前 英希 先生
 - ・主催…全国パーキンソン病友の会北海道支部
 - ・後援…北海道難病連十勝支部
 - ・参加費…1,000円(会員・家族医療関係者無料)
※会員・家族以外の一般の方の参加を、歓迎致します

場所 とかちプラザ(4階、402号室…講習室)
帯広市西4条南13丁目(JR帯広駅南側…徒歩1分)
電話 0155-22-7890

※お問い合わせ担当ブロック

帯広市西10条北3丁目3-11
パーキンソン病友の会帯広ブロック
事務局 山根 0155-36-3513

「全国心臓病の子供を守る会 北海道支部

帯広ブロック」から

私達、心臓病の子供を守る会は、帯広ブロックで、12人の会員で活動しています。今年度は、医療講演会、交流会などを行いました。医療講演につきましては、帯広厚生病院のケースワーカーを呼んで、公的医療補助などについて勉強しました。

来年度につきましては、4月に、心臓病と歯科について、北斗病院の北川先生をお招きして講演会を予定しています。その他には、屋外交渉会なども予定しています。

来年度は、講演会、交流会の数も増やし、より、内容の高いものにしたいと考えております。
(以上、中山 記)

肝臓検診について

「肝炎友の会」より

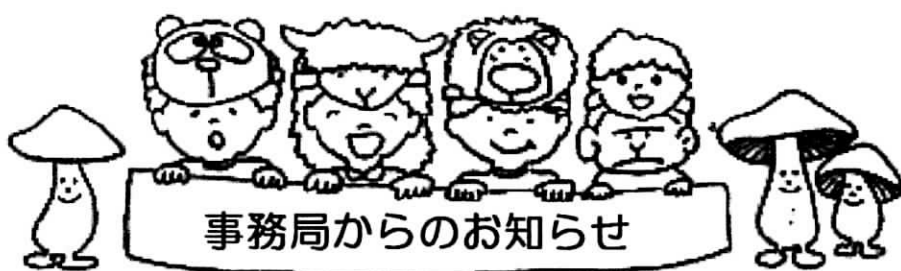
平成12年度の肝がん検診は次の日程で行います。

日 時 4月16日(日) 午前8時30分より

場 所 帯広市総合福祉センター

※ 「肝炎友の会」の皆さんには、すでにご案内してあります。





「ふれあい帯広」の閉鎖について

福祉機器事業帯広営業所「ふれあい帯広」は、1999年度から規模を縮小しまして、2000年度からは、店舗を閉鎖することになります。（正式には5月に開催される本部の総会で決定します）先日、本部の伊藤たてお専務理事から、通知がきました。

新年度からは、支部の事務所で、介護用品等の仲介をするだけになります。主な理由は介護保険制度の発足に伴い、大きな介護用品などは、給付ではなく、レンタルになって行くという見通しによるものです。長い間、ご利用有り難うございました。

「地域共同作業所」の開設について

かねてから、申請していましたが「地域共同作業所」が認可になる見通しがつきました。正式な通知は、まだ、いただけていませんが、12年度の早い時期から開設できると思われます。

帯広市の補助によるもので、認可のかたちは、利用人員5名～10名未満、職員2名の小規模なものです。（1型作業所）作業の内容は、パソコン教室と、パソコンを使った仕事を予定しています。最初は、パソコンの練習が中心になります。手帳を持っている人で通所可能な方で、利用希望の方は、お問い合わせ下さい。支部事務所 0155-23-6602

なお、作業所の場所は、当面、現在の事務所を使う予定です。

〔ご寄贈有り難うございました〕

1 YOSAKOIソーラン組織委員会十勝支部 様

1月20日、十勝支部事務所において、YOSAKOIソーラン組織委員会十勝支部菊地英樹支部長、黒田勝史副支部長、佐藤豪事務局長がおいでになり、昨年12月、「おびひろ市民芸術祭 — YOSAKOIでつづる十勝物語」の収益金全額、30万円を寄贈して下さいました。本部へ届けて、半分を支部にいただきました。新しく出来る作業所に使わせていただくことにします。有り難うございました。

2 バザー用品を寄贈して下さいました方々ご芳名紹介 (10月～3月まで)

帯広市 佐藤様 伊藤様 名須川様 大沢様
三浦様 加藤様 坪田様 楽山様
芽室町 香川様

中札内村 矢島様 他に、匿名で品物を届けてくれた方が、3名

有り難うございました。「健康まつり」や「ふれあい広場」の折りに、バザーをしました。活用させていただきました。

〔定期総会の案内〕

2000年度の定期総会を次の日程で開催します。各部会から、なんれん担当で出ている役員の他に、会員の方々の御出席を歓迎します。

1 期日 4月22日 (土) 午後 1時から3時まで

2 場所 帯広市総合福祉センター

3 議題 ① 1999年 業務報告並びに決算報告 ③ 共同作業所の運営について
② 2000年 活動計画並びに予算案 ③ その他

—————HSKなんれんとかちNO31—————

編集人 財団法人北海道難病連十勝支部 支部長 山崎 富士夫

第3種郵便物認可 昭和48年1月13日、2000年3月10日発行 通巻第336号

発行所 北海道難病連十勝支部・「ふれあい帯広」☎0155-23-6602 FAX 23-7071

帯広市西5条南13丁目19-2 事務所 月曜日～金曜日 10時から16時

発行人 北海道身体障害者団体定期刊行物協会 細川 久美子